

議会運営委員会会議録（令和5年3月3日）

出席委員 岩城委員長 竹原副委員長 大浦委員 古沢委員 開田委員 中川委員
尾崎議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

職務のため出席した事務局職員 落合局長 中田係長

午前9時00分開会

【岩城委員長】 これより、議会運営委員会を開催いたします。

会議日程はお手元に配付してあるとおりでございます。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。大浦委員、竹原委員でございます。

日程第2 陳情について議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

【落合局長】 お手元のほうに請願・陳情要望書の追加分、配付してございます。

3月定例会の請願・陳情・意見書提出要請等の最終受付である2月27日まで、陳情が1件、追加で提出されております。

「庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情」で、市役所において政党機関紙の勧誘・配達・集金行為に関する現状把握とルールを明確にし、庁舎内で政治的中立を疑われるような行為は改め、自粛するよう求める内容のものでございます。

これに関しては、陳情の趣旨説明の申出がございます。この陳情について、どのように対応するか協議願います。

以上です。

【岩城委員長】 ただいま事務局から説明がありました陳情の取扱いについて、各委員から意見を求めたいと思います。

私の考えでいいれば、皆さん方の聞き取りをさせていただきたいと思うんですけども、こら辺りの案件に関しては、議会として扱う案件にはふさわしくないような気がいたします。これは各市議会にしておられるそうでありまして、某宗教法人だと思っておりますが、それぞれの地方自治のほうに、全国的に出しておられるのではないかなどということあります。

私からは、陳情にはちょっとどうかなという思いでおりますので、それぞれご意見を聞かせていただきたいと思います。

なら、竹原副委員長、いいですか。

【竹原副委員長】 私、この案件は、それこそ議運で取り上げてどうのこうのという話ではないと。これはあくまで任意というか、そういう話だと思うので、ここで一新聞なり何なりを取り上げると切りがないような気がしますので、取り上げるべきじゃないと思います。

【岩城委員長】 中川委員。

【中川委員】 私も、議会でああやこうやというものではないというふうに思います。庁舎の中のルールで考えていただければいい話ではないかなというふうに思います。それ以上に市民の皆さん方が直接それぞれのを書いてお願いする項目と大して変わらんような話なものですから、議運もまた議会では出さないと、取り扱わないということにしたいと思います。

【岩城委員長】 開田委員。

【開田委員】 この人ちゃ、職員なんですか。

【岩城委員長】 いや、普通の市民の方。

【開田委員】 職員上がりとか、そういうがじゃないがですね。

【岩城委員長】 そういうことじゃないです。

【開田委員】 人のことを、何を言って。ごめんなさい。

私もそう思います。

【岩城委員長】 古沢委員。

【古沢委員】 そもそも陳情になじまない中身であるというふうに思います。

言いたいことはいっぱいあるんですけど、あえて言わないでおきますわ。中身についてもね。

【岩城委員長】 分かりました。

大浦委員。

【大浦委員】 同じで。

【岩城委員長】 よろしいですか。

【大浦委員】 はい。

【岩城委員長】 では、陳情については、委員会付託せず、参考配布といたしたいと思

ます。それで、そちらのほうに連絡していただいて、異議があるというなら、議長と私、委員長の2人で対応していきたいと思いますので。それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【岩城委員長】 その他について、事務局からありますか。

【落合局長】 お手元のほうにお配りしていると思いますが、3月11日、今年、土曜議会の開催を予定しておりますが、東日本大震災が起こって12年目となる日でもございます。その3月11日における弔意表明について、国のほうから、なるべく弔意を示すようにというような通知が来ております。

昨年、同じく3月11日、議会開催日であって、昨年は取りやめというようなことになつたやに聞いておりますが、今回、今年度この指示のとおり実施したいと思いますが、その辺をお諮り願います。

【岩城委員長】 この件に関しては、去年滑川市議会ではやらなかつたわけなんですが、何か全国的に、10年も過ぎたしということで非常に少なかつたという話を聞いておりまして、再度国のほうから、ひとつまた弔意を表す形でやっていただけないかという要請が来ておることでありますので、当日、土曜日でありますが、土曜議会をしているのはどうも私のところだけなもので、その当日、弔意を表すという形にすればどうかなと。国からもせっかく言ってきておるがで、どういうものでしよう。

【竹原副委員長】 委員長、これ以前、午後一で黙禱というのがあったと思うんですけど、この2時46分というと多分質問の途中だとか休憩の途中だとかいろいろあるので、やるのであれば午後一で黙禱をささげるのにするのがいいのか、それとも議長の采配で上手に2時45分ぐらいに休憩に入って、じゃ黙禱というようにするのか、どうされるのか。私は午後一黙禱でいいがかなとは思うんですけど。

【岩城委員長】 予定としては、そういう中途半端な時間はということでありますので、午後のスタート時にどうかなという考え方でおられるそうであります。

そういうことで、よろしいか。

【大浦委員】 私は、人がおったていの、傍聴者もおったていとして、忘れないようにとすることも含めて、その時間にでもやるのも一つかなと。また、皆さんのお見なので。私個人は、その時間にというのも一つかなというふうに思います。

【古沢委員】 もっともだとは思いますが、ただその時間にたまたま質問して時間中だとすると、質問している議員にとっては、表現は悪いけど、話の腰が折られるみたいなこと

になって、ある一種の、緊張感がそこで、そのやり取りのあが途切れてしまうんじやないかという。たまたまその時間に当たった人は気の毒だなと思ってしまうので。

【竹原副委員長】 大浦議員が質問のときだったら同時刻にやるということで、それ以外の方は午後一ということで取り組まれたらいいと思います。

【中川委員】 やっぱりこの時間に地震が起きたんやから、地震のつもりで、その時間帯、ちょっと止めて。大浦委員さんが言われるように、その時間で、私はやれば、傍聴者もたくさん来ておられると思うし、なお効果が上がるがじやないかなと私は思う。

【開田委員】 私も、本当を言ったら、その時間のほうがいいなとだけ思っています。なぜかというと、本当にあのとき私議場において、え、自分で、めまいしておる。え、脳梗塞と思った。そういう記憶もどうしてありますので、何となくこうだったなということが、その日議会だし、なおさら。というのは、ほかの皆さんが言われたから、ついでにと言ったら、すみません。それもありかなと思っています。

【岩城委員長】 やる方向であれか知らんけど、しかし、それこそ時間を決めてやったほうがいいがでないがけ。時間を決めたらっておかしいけども、午後一なら午後一、午後一が終わって、近くなつたら、一人終わった後の近い時間帯か、そこら辺りでせんと、途中でやらんほうがいいぢや。

【古沢委員】 本会議中だから、そこは議長と議運の委員長で相談してください。

【中川委員】 できれば、発生後に、切りのいいときにやればいい。発生前にやるというのは。

【岩城委員長】 ちょっと待たれま。発生後ぢや。

【開田委員】 発生前にするもんだぢや。

【中川委員】 どうして。

【開田委員】 するもんだぢやよって変だけども。

【中川委員】 その時間帯に地震が起きたから、それに対する弔意を示すというわけだから。

【開田委員】 お任せでいいか、分からんようになってきた。

【中川委員】 いつでも、いいがです。

【岩城委員長】 やることはやるがにして、ちょっと今、議長とまた話をして、何がいいがか。

【竹原副委員長】 午後一、1人終わったら。

【岩城委員長】 1人ずつ順番にやっていこうかな。

【＊尾崎議長＊】 承知いたしました。

【岩城委員長】 11日の午前中、終わった時間に結論を出して、いいがにします。そこは申し訳ないけども、やることはやるがで、したいと思いますから、お願いします。

そのほか、ある、事務局さん。

【落合局長】 ないです。

【岩城委員長】 それだけだったけ。

委員の皆さんには。

よろしい。

(特になし)

【岩城委員長】 では、議会運営委員会は3月11日午前9時からとなっております。土曜日、土曜議会のときね。意見書提出案件が1件あったと思いますので、そのときに皆さん方からご意見を聞きたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議会運営委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

午前9時12分閉会